

企業物流短期動向調査（日通総研短観）

調査結果

（2014年6月調査）

2014年7月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2014年4～6月の実績と2014年7～9月の見通しを6月初旬時点でうかがったものであり、1,044社からご協力をいただき、回答率は41.8%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

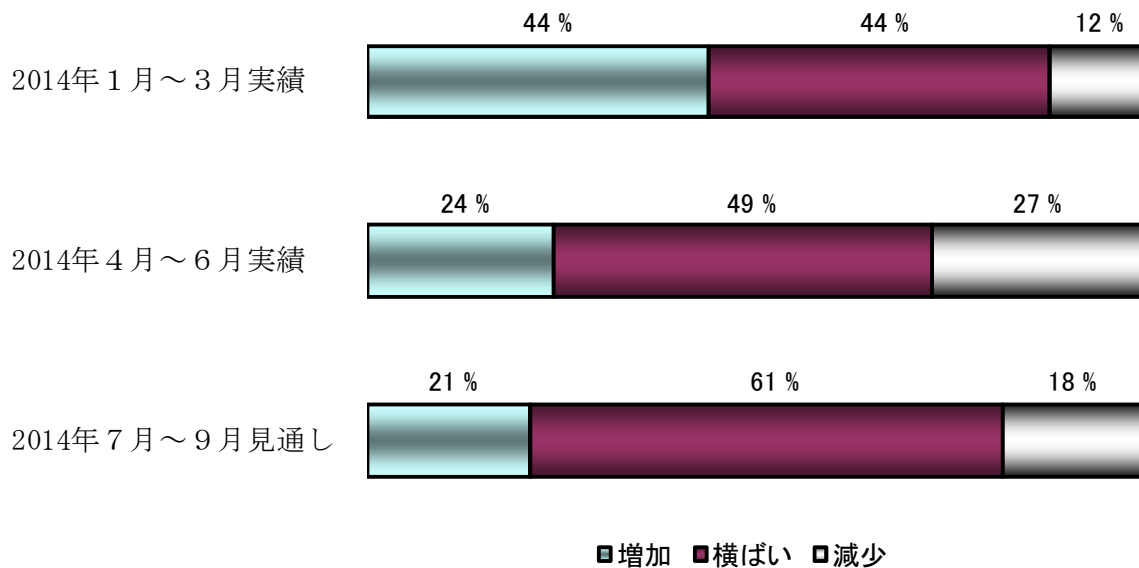
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	105	45.3
	繊 維 ・ 衣 服	111	45	40.5
	木 材 ・ 家 具	96	40	41.7
	パ ル プ ・ 紙	107	50	46.7
	化学・プラスチック	239	113	47.3
	窯 業 ・ 土 石	102	41	40.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	108	55.4
	金 属 製 品	128	51	39.8
	一 般 機 械	222	94	42.3
	電 気 機 械	333	117	35.1
	輸 送 用 機 械	251	92	36.7
	精 密 機 械	67	26	38.8
	そ の 他	167	55	32.9
計		2,250	937	41.6
卸 売 業	生 産 財	124	54	43.5
	消 費 財	126	53	42.1
	計	250	107	42.8
合 計		2,500	1,044	41.8

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

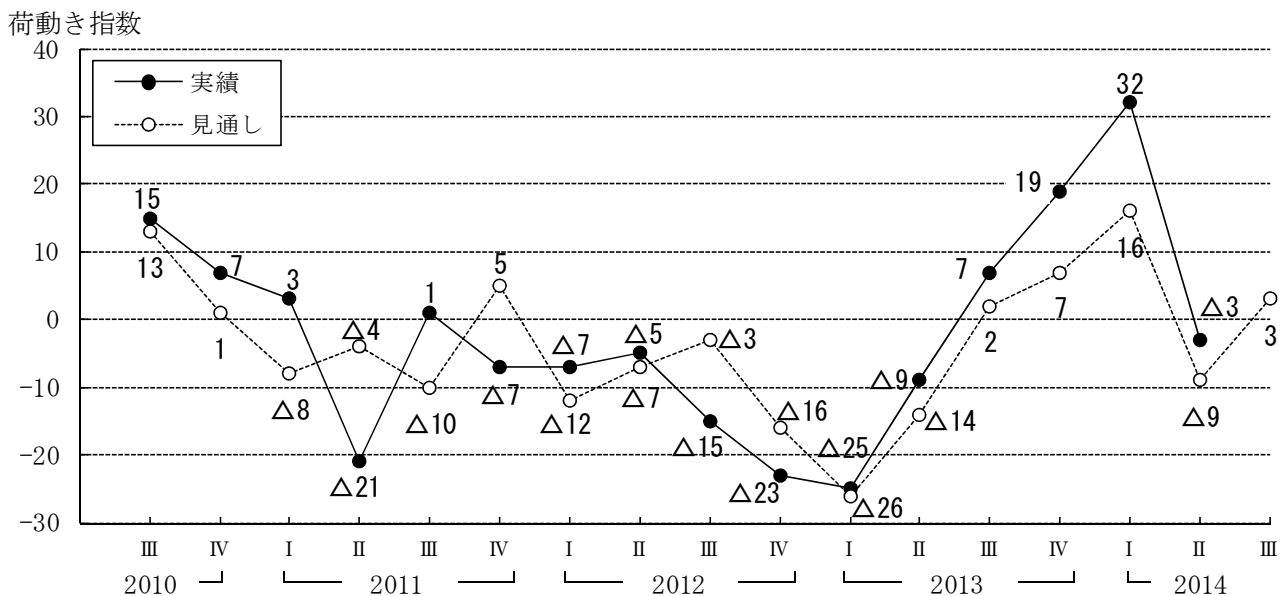
- 4～6 月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3 月）実績より 20 ポイント低下し 24%となった。一方、「減少」との回答は前期より 15 ポイント上昇し 27%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は 35 ポイント低下して△3となった。
- 7～9 月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6 月）実績（見込み）より 3 ポイント低下し 21%となる一方、「減少」との回答も 9 ポイント低下し 18%になる。この結果、『荷動き指数』は 6 ポイント上昇してプラス 3 と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



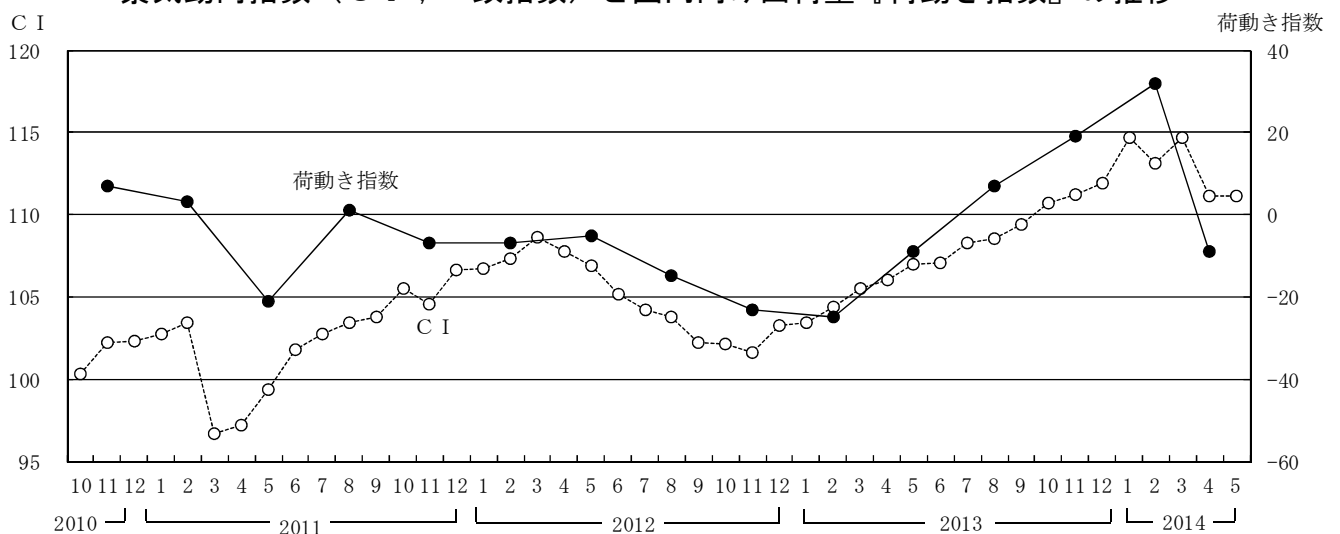
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2013年7～9月実績でプラス7と、2011年7～9月実績以来2年ぶりのプラスに浮上した後、消費税増税前の駆け込み需要の発生などを受けて、10～12月実績ではプラス19、2014年1～3月実績ではプラス32と、本調査を開始した2002年以降では最高値を示した。しかし、駆け込み需要の反動などから、4～6月実績（見込み）では一転して35ポイントの大幅な下降となった。ただし、7～9月見通しでは6ポイント上昇してプラス3と、再びプラス水準に反転するものとみられる。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2014年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2014年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の山は2012年4月（暫定）、景気の谷は2012年11月（暫定）となっている。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての業種において前期（1～3月）実績よりも低下した。プラスの業種は鉄鋼・非鉄、金属製品など5業種にとどまり、生産財卸、消費財卸など10業種がマイナスとなった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに沈む一方、化学・プラスチックなど4業種がプラスに反転するなど、11業種において改善の動きがみられる。この結果、プラスの業種は8業種、マイナスの業種は7業種になり、業種により跛行性がみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業 種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	100	20	50	30	△ 10	100	15	67	18	△ 3
	繊 維 ・ 衣 服	42	26	53	21	5	43	14	65	21	△ 7
	木 材 ・ 家 具	39	26	36	38	△ 12	39	13	46	41	△ 28
	パ ル プ ・ 紙	49	20	56	24	△ 4	49	10	72	18	△ 8
	化学・プラスチック	109	22	54	24	△ 2	109	20	71	9	11
	窯 業 ・ 土 石	40	24	48	28	△ 4	40	25	53	22	3
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	108	35	51	14	21	108	31	57	12	19
	金 属 製 品	48	25	58	17	8	48	23	65	12	11
	一 般 機 械	92	21	49	30	△ 9	92	24	55	21	3
	電 気 機 械	113	29	43	28	1	113	27	53	20	7
	輸 送 用 機 械	88	26	49	25	1	88	27	50	23	4
	精 密 機 械	25	8	68	24	△ 16	25	12	64	24	△ 12
	そ の 他	54	16	54	30	△ 14	54	20	71	9	11
計	907	24	51	25	△ 1	908	22	60	18	4	
卸 売 業	生 産 財	53	20	38	42	△ 22	52	15	66	19	△ 4
	消 費 財	53	15	45	40	△ 25	53	11	74	15	△ 4
	計	106	17	42	41	△ 24	105	13	70	17	△ 4
合 計	1,013	24	49	27	△ 3	1,013	21	61	18	3	

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、中国および九州・沖縄がプラスで、残り7地域ではマイナスを示した。前期（1～3月）実績との比較では、全9地域で大幅な低下がみられた。

■ 7～9月の見通しでは、東海および中国で『荷動き指数』が低下する一方、残り7地域において上昇し、関東、北陸・信越、近畿の3地域ではプラスに上昇する見込みである。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

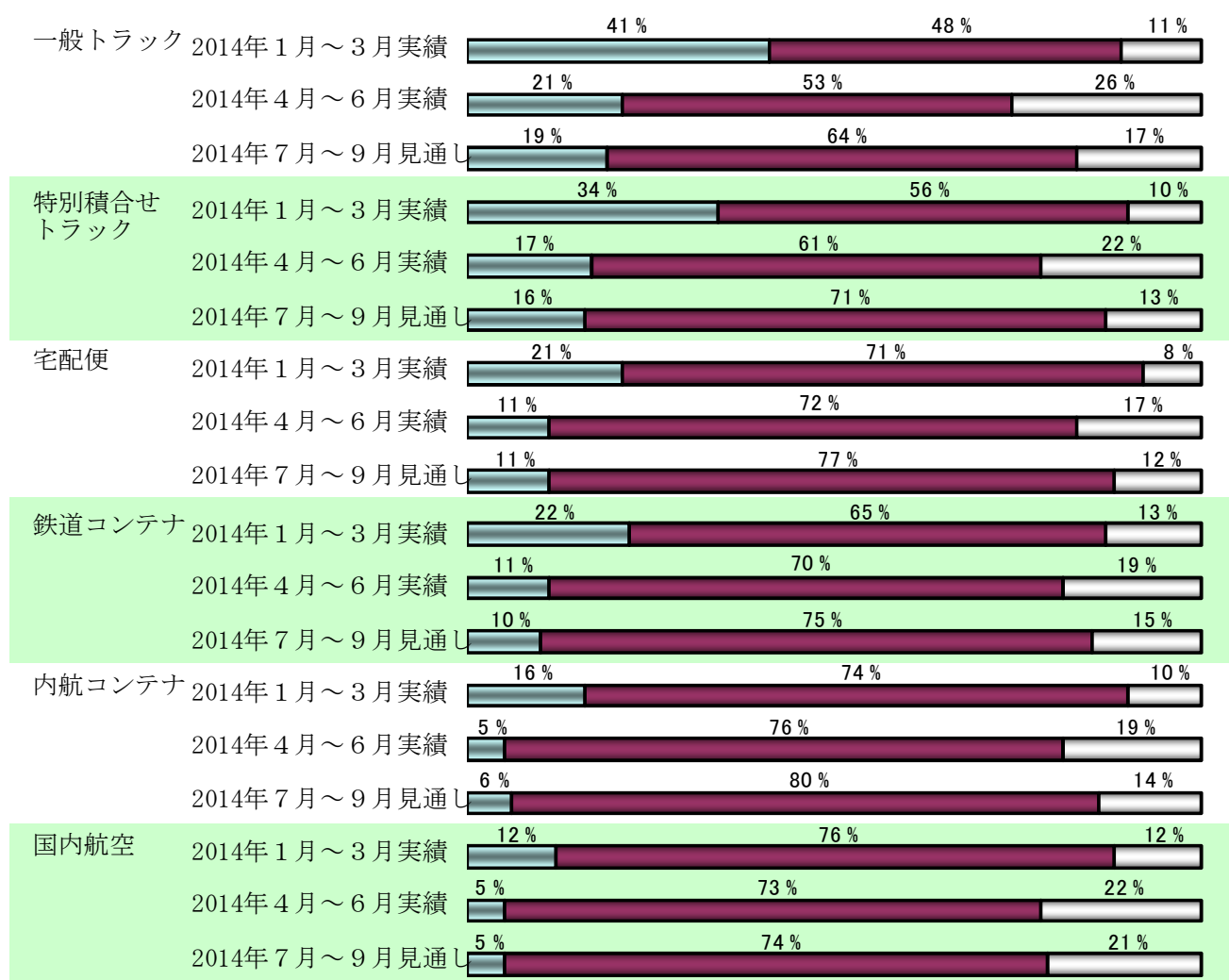
地 域	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し				
	回答 社数	構成比(%)			荷動き 指 数	回答 社数	構成比(%)			荷動き 指 数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	54	16	54	30	△ 14	54	15	70	15	0
東 北	94	14	60	26	△ 12	94	15	67	18	△ 3
関 東	257	25	46	29	△ 4	257	25	58	17	8
北 陸 ・ 信 越	98	25	46	29	△ 4	98	21	62	17	4
東 海	159	26	44	30	△ 4	158	20	53	27	△ 7
近 畿	155	21	55	24	△ 3	155	21	65	14	7
中 国	84	35	43	22	13	85	20	64	16	4
四 国	52	23	44	33	△ 10	52	21	56	23	△ 2
九 州 ・ 沖 縄	60	22	62	16	6	60	22	72	6	16
合 計	1,013	24	49	27	△ 3	1,013	21	61	18	3

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 4～6月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関において前期（1～3月）実績よりも低下し、かつすべての輸送機関においてマイナスを示した。

■ 7～9月の見通しでは、すべての輸送機関において『利用動向指数』が改善する見込みであり、一般トラックおよび特別積合せトラックではプラスに浮上する。一方、国内航空では引き続き2ケタのマイナスとなる見通しで、輸送機関により跛行性がみられる。

各輸送機関の利用の実績と見通し



■増加 ■横ばい ■減少

(1) 一般トラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄が唯一プラスを示し、窯業・土石など4業種がゼロ水準で、生産財卸、消費財卸など10業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△5で、前期（1～3月）実績からは35ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械がマイナスに沈む一方、窯業・土石、その他の製造業など7業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は7ポイント上昇してプラス2となる見通しで、利用は回復に向かうものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	100	18	58	24	△6	100	14	69	17	△3	
繊維・衣服	37	16	62	22	△6	37	8	70	22	△14	
木材・家具	39	21	41	38	△17	39	10	54	36	△26	
パルプ・紙	50	18	58	24	△6	47	13	70	17	△4	
化学・プラスチック	109	20	55	25	△5	109	18	70	12	6	
製造業	窯業・土石	41	22	56	22	0	41	27	54	19	8
	鉄鋼・非鉄	105	34	51	15	19	104	30	59	11	19
	金属製品	51	24	52	24	0	48	19	67	14	5
	一般機械	92	22	50	28	△6	91	22	63	15	7
	電気機械	108	25	50	25	0	107	22	59	19	3
	輸送用機械	87	19	51	30	△11	87	25	53	22	3
	精密機械	21	10	80	10	0	21	10	76	14	△4
	その他	54	15	63	22	△7	54	19	70	11	8
	計	894	22	54	24	△2	885	20	63	17	3
	卸売業	生産財	49	16	43	41	△25	47	11	72	17
消費財		49	14	49	37	△23	48	10	71	19	△9
計		98	15	46	39	△24	95	10	72	18	△8
合計	992	21	53	26	△5	980	19	64	17	2	

(2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績(見込み)の『利用動向指数』は、金属製品など4業種がプラスで、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△5で、前期(1～3月)実績からは29ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、電気機械および生産財卸がプラスに浮上し、窯業・土石および精密機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は8ポイント上昇してプラス3となる見通しで、利用は回復に向かうものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	75	19	53	28	△9	73	15	69	16	△1
	繊維・衣服	33	15	61	24	△9	33	12	67	21	△9
	木材・家具	23	17	61	22	△5	23	9	65	26	△17
	パルプ・紙	32	13	78	9	4	33	18	73	9	9
	化学・プラスチック	99	22	59	19	3	98	18	74	8	10
	窯業・土石	31	16	61	23	△7	31	16	68	16	0
	鉄鋼・非鉄	71	20	72	8	12	71	21	72	7	14
	金属製品	32	25	66	9	16	31	23	65	12	11
	一般機械	76	14	61	25	△11	75	19	61	20	△1
	電気機械	89	21	55	24	△3	88	22	60	18	4
	輸送用機械	71	8	67	25	△17	71	10	76	14	△4
	精密機械	18	6	83	11	△5	18	6	88	6	0
	その他	40	5	70	25	△20	40	4	88	8	△4
	計	690	16	63	21	△5	685	16	70	14	2
卸売業	生産財	42	21	43	36	△15	40	13	78	9	4
	消費財	35	9	54	37	△28	34	6	76	18	△12
	計	77	16	48	36	△20	74	9	77	14	△5
合計	767	17	61	22	△5	759	16	71	13	3	

(3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄および金属製品がプラスで、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績からは19ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙や窯業・土石など6業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は5ポイント上昇して△1となる見通しで、利用の減退圧力は弱まるものとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	83	10	66	24	△14	83	11	72	17	△6
	繊維・衣服	38	11	71	18	△7	37	5	76	19	△14
	木材・家具	32	15	63	22	△7	32	6	69	25	△19
	パルプ・紙	31	13	71	16	△3	31	16	74	10	6
	化学・プラスチック	91	5	85	10	△5	90	6	84	10	△4
	窯業・土石	32	6	78	16	△10	32	13	81	6	7
	鉄鋼・非鉄	61	7	89	4	3	61	7	89	4	3
	金属製品	41	12	78	10	2	39	10	82	8	2
	一般機械	92	14	69	17	△3	90	18	68	14	4
	電気機械	106	16	64	20	△4	105	16	73	11	5
	輸送用機械	73	10	75	15	△5	74	12	77	11	1
	精密機械	25	8	72	20	△12	25	8	76	16	△8
	その他	44	9	68	23	△14	44	7	84	9	△2
計	749	11	73	16	△5	743	11	77	12	△1	
卸売業	生産財	43	11	63	26	△15	41	9	76	15	△6
	消費財	44	11	71	18	△7	43	12	81	7	5
	計	87	11	67	22	△11	84	11	78	11	0
合計	836	11	72	17	△6	827	11	77	12	△1	

(4) 鉄道コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙、化学・プラスチック、金属製品の3業種がプラス、生産財卸がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△8で、前期（1～3月）実績からは17ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、生産財卸がプラスに浮上するなど、過半数の業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は3ポイント上昇して△5となる見通しで、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	57	17	60	23	△6	56	9	77	14	△5
	繊維・衣服	10	0	60	40	△40	10	0	60	40	△40
	木材・家具	19	5	74	21	△16	19	5	74	21	△16
	パルプ・紙	37	14	78	8	6	36	17	78	5	12
	化学・プラスチック	77	19	65	16	3	75	13	76	11	2
	窯業・土石	18	0	78	22	△22	18	0	78	22	△22
	鉄鋼・非鉄	41	7	83	10	△3	41	7	76	17	△10
	金属製品	16	19	75	6	13	16	19	81	0	19
	一般機械	42	5	81	14	△9	42	4	79	17	△13
	電気機械	37	10	68	22	△12	37	14	70	16	△2
	輸送用機械	36	8	61	31	△23	36	11	61	28	△17
精密機械	11	0	82	18	△18	11	0	82	18	△18	
その他	26	15	62	23	△8	26	15	66	19	△4	
計	427	12	70	18	△6	423	10	74	16	△6	
卸売業	生産財	12	25	50	25	0	12	17	75	8	9
	消費財	17	5	71	24	△19	17	6	82	12	△6
	計	29	14	62	24	△10	29	10	80	10	0
合計	456	11	70	19	△8	452	10	75	15	△5	

(5) 内航コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、繊維・衣服および金属製品がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△14で、前期（1～3月）実績からは20ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械がプラスに浮上し、化学・プラスチックおよび消費財卸もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は6ポイント上昇して△8となる見通しで、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	36	5	78	17	△12	36	8	81	11	△3
繊維・衣服	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0
木材・家具	7	0	71	29	△29	7	0	86	14	△14
パルプ・紙	18	0	78	22	△22	18	5	78	17	△12
化学・プラスチック	51	6	80	14	△8	51	8	84	8	0
製 窯業・土石	15	7	80	13	△6	15	7	73	20	△13
鉄鋼・非鉄	31	3	87	10	△7	31	0	90	10	△10
金 属 製 品	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
製 一 般 機 械	37	11	73	16	△5	36	17	72	11	6
電 気 機 械	27	4	70	26	△22	27	4	74	22	△18
輸 送 用 機 械	31	3	62	35	△32	31	3	68	29	△26
精 密 機 械	9	0	78	22	△22	9	0	78	22	△22
そ の 他	22	9	59	32	△23	22	9	73	18	△9
計	298	5	76	19	△14	297	6	80	14	△8
卸 生 産 財	8	0	75	25	△25	8	0	88	12	△12
業 消 費 財	11	0	82	18	△18	11	0	100	0	0
計	19	0	79	21	△21	19	0	95	5	△5
合 計	317	5	76	19	△14	316	6	80	14	△8

(6) 国内航空

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、繊維・衣服、化学・プラスチック、精密機械の3業種がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△17で、前期（1～3月）実績からは17ポイント低下した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服および精密機械がマイナスに沈む一方、化学・プラスチックがプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△16と強含み横ばいで推移する見通しであり、利用の減退が続くものとみられる。

国内航空利用の実績と見通し

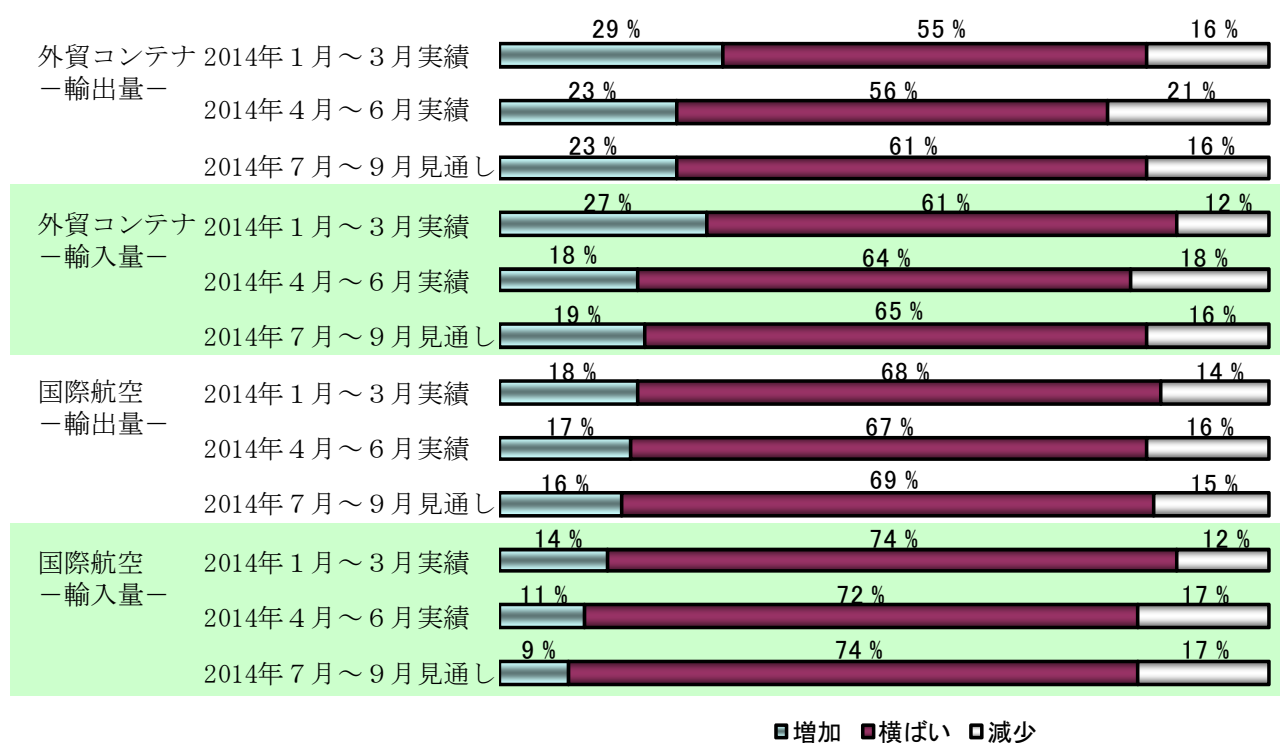
業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	29	0	59	41	△41	28	0	57	43	△43
繊維・衣服	7	0	100	0	0	7	0	86	14	△14
木材・家具	6	0	83	17	△17	6	0	100	0	0
パルプ・紙	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
化学・プラスチック	36	8	84	8	0	36	11	81	8	3
製 窯業・土石	12	0	67	33	△33	12	0	67	33	△33
鉄 鉄鋼・非鉄	23	4	87	9	△5	23	4	83	13	△9
金 金属製品	15	0	87	13	△13	15	0	87	13	△13
一 一般機械	51	11	65	24	△13	50	8	68	24	△16
電 電気機械	54	9	74	17	△8	54	7	80	13	△6
輸 送用機械	32	0	69	31	△31	32	0	72	28	△28
精 精密機械	13	8	84	8	0	13	8	77	15	△7
そ の 他	20	0	65	35	△35	20	0	70	30	△30
計	304	5	74	21	△16	302	4	75	21	△17
卸 生産財	13	8	46	46	△38	13	15	54	31	△16
消 消費財	15	0	80	20	△20	15	7	73	20	△13
計	28	4	64	32	△28	28	11	64	25	△14
合 計	332	5	73	22	△17	330	5	74	21	△16

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において前期（1～3 月）よりも低下した。外貿コンテナの輸出および国際航空の輸出ではプラスを維持したが、外貿コンテナの輸入ではゼロ水準、国際航空の輸入ではマイナスに沈んだ。

■ 7～9 月の見通しでは、外貿コンテナの輸出・輸入では『荷動き指数』が上昇する見込みである。一方、国際航空の輸出では横ばい、輸入では低下する見込みであり、外貿コンテナに比べて荷動きはいくぶん低調に推移するものとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄など6業種がプラス、精密機械がゼロ水準で、繊維・衣服、窯業・土石など8業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス2で、前期（1～3月）実績より11ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械、精密機械、その他の製造業の3業種がプラスに浮上し、木材・家具および金属製品もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『荷動き指数』は5ポイント上昇してプラス7と見込まれ、荷動き拡大の増勢が強まるものとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	16	38	38	24	14	16	31	50	19	12	
繊維・衣服	10	10	50	40	△ 30	10	10	60	30	△ 20	
木材・家具	6	17	50	33	△ 16	6	17	66	17	0	
パルプ・紙	21	52	43	5	47	21	48	52	0	48	
化学・プラスチック	61	28	54	18	10	61	18	66	16	2	
窯業・土石	21	24	38	38	△ 14	21	23	48	29	△ 6	
鉄鋼・非鉄	45	29	64	7	22	45	31	62	7	24	
金属製品	18	5	78	17	△ 12	17	6	88	6	0	
一般機械	63	22	57	21	1	63	27	60	13	14	
電気機械	56	18	61	21	△ 3	55	25	59	16	9	
輸送用機械	56	20	48	32	△ 12	56	19	54	27	△ 8	
精密機械	12	17	66	17	0	12	25	58	17	8	
その他	23	13	65	22	△ 9	23	17	70	13	4	
計	408	23	56	21	2	406	24	60	16	8	
卸売業	生産財	9	33	56	11	22	8	12	88	0	12
	消費財	9	11	67	22	△ 11	9	11	56	33	△ 22
	計	18	22	61	17	5	17	11	71	18	△ 7
合計	426	23	56	21	2	423	23	61	16	7	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、鉄鋼・非鉄、電気機械など6業種がプラス、パルプ・紙がゼロ水準で、食料品・飲料、窯業・土石など8業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はゼロ水準で、前期（1～3月）実績より15ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、パルプ・紙がプラスに浮上し、繊維・衣服、木材・家具、その他の製造業の3業種もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『荷動き指数』は3ポイント上昇してプラス3と見込まれ、荷動きは拡大方向に向かうものとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	20	0	70	30	△ 30	20	10	70	20	△ 10	
繊維・衣服	12	8	67	25	△ 17	13	23	54	23	0	
木材・家具	10	10	60	30	△ 20	10	20	60	20	0	
パルプ・紙	16	13	74	13	0	16	25	69	6	19	
化学・プラスチック	51	16	76	8	8	51	16	78	6	10	
窯業・土石	22	9	55	36	△ 27	22	13	64	23	△ 10	
鉄鋼・非鉄	34	24	74	2	22	34	26	68	6	20	
金属製品	15	7	93	0	7	14	21	79	0	21	
一般機械	63	22	59	19	3	63	25	51	24	1	
電気機械	57	30	56	14	16	57	25	60	15	10	
輸送用機械	55	20	58	22	△ 2	55	18	60	22	△ 4	
精密機械	13	15	54	31	△ 16	13	7	62	31	△ 24	
その他	25	12	64	24	△ 12	25	12	76	12	0	
計	393	18	64	18	0	393	20	64	16	4	
卸売業	生産財	15	33	47	20	13	14	14	79	7	7
	消費財	15	13	60	27	△ 14	15	13	54	33	△ 20
	計	30	23	54	23	0	29	13	66	21	△ 8
合計	423	18	64	18	0	422	19	65	16	3	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、鉄鋼・非鉄、精密機械など5業種がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、食料品・飲料、生産財卸など6業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス1で、前期（1～3月）実績より3ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械がプラスに浮上し、消費財卸もゼロ水準まで戻す一方、鉄鋼・非鉄、精密機械、生産財卸の3業種で低下が見込まれる。この結果、業種全体の『荷動き指数』は横ばいで推移し、荷動きは小幅なプラス基調で推移するものとみられる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	9	0	67	33	△ 33	9	0	67	33	△ 33
繊維・衣服	6	17	66	17	0	6	17	66	17	0
木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
化学・プラスチック	37	19	73	8	11	37	19	73	8	11
製 窯業・土石	13	15	77	8	7	13	23	62	15	8
造 鉄鋼・非鉄	25	28	64	8	20	25	20	64	16	4
業 金 属 製 品	15	13	74	13	0	15	13	74	13	0
一 般 機 械	56	14	66	20	△ 6	56	14	68	18	△ 4
電 気 機 械	67	18	63	19	△ 1	66	18	70	12	6
輸 送 用 機 械	44	18	66	16	2	45	16	73	11	5
精 密 機 械	15	33	60	7	26	15	20	67	13	7
そ の 他	18	16	56	28	△ 12	18	11	67	22	△ 11
計	313	18	67	15	3	313	16	70	14	2
卸 生 産 財	10	20	40	40	△ 20	9	22	33	45	△ 23
業 消 費 財	8	0	88	12	△ 12	8	13	74	13	0
計	18	11	61	28	△ 17	17	18	53	29	△ 11
合 計	331	17	67	16	1	330	16	69	15	1

(4) 国際航空 —輸入—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、鉄鋼・非鉄、電気機械、消費財卸の3業種がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、一般機械、その他の製造業など8業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△6で、前期（1～3月）実績より8ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、輸送用機械がプラスに浮上し、生産財卸もゼロ水準まで戻す一方、鉄鋼・非鉄および電気機械がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『荷動き指数』は2ポイント低下して△8と見込まれ、荷動きは減退圧力が若干強まるものとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

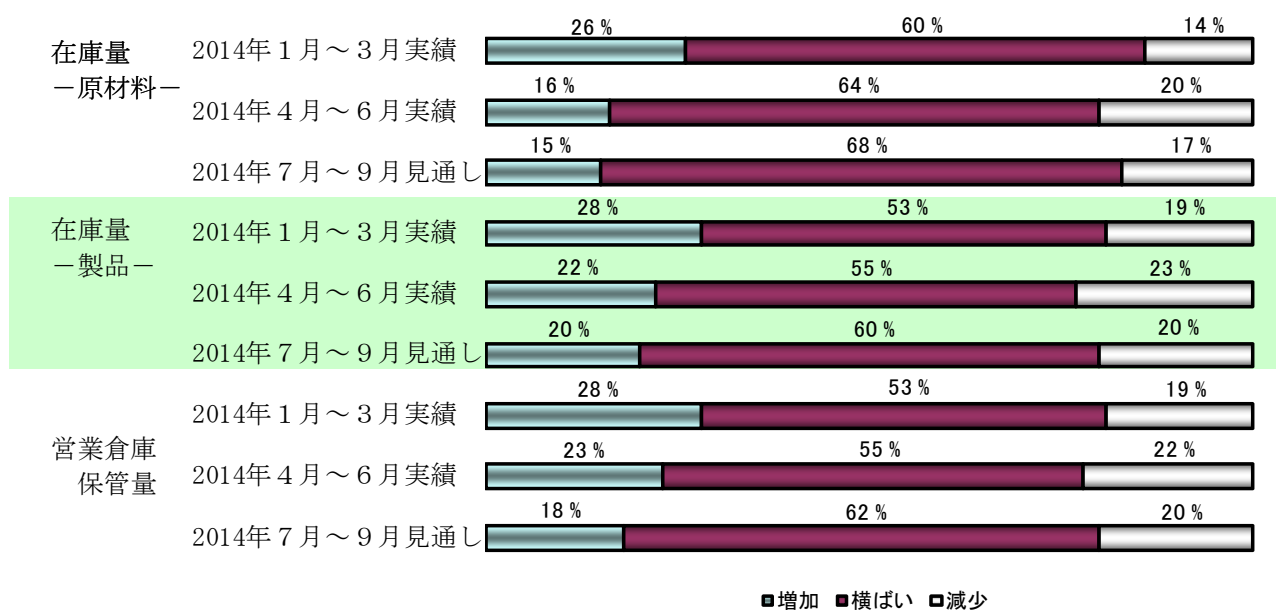
業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20
	繊維・衣服	6	17	66	17	0	6	17	66	17	0
	木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	パルプ・紙	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
	化学・プラスチック	31	3	84	13	△10	31	0	87	13	△13
	窯業・土石	12	0	83	17	△17	12	0	92	8	△8
	鉄鋼・非鉄	21	10	86	4	6	21	4	86	10	△6
	金属製品	11	9	82	9	0	11	9	82	9	0
	一般機械	48	6	67	27	△21	48	8	61	31	△23
	電気機械	53	25	58	17	8	53	17	64	19	△2
	輸送用機械	45	11	73	16	△5	45	16	73	11	5
	精密機械	14	14	65	21	△7	14	7	72	21	△14
	その他	20	0	75	25	△25	20	0	80	20	△20
計	278	10	73	17	△7	278	9	74	17	△8	
卸売業	生産財	9	33	22	45	△12	8	38	24	38	0
	消費財	11	18	82	0	18	11	9	91	0	9
	計	20	25	55	20	5	19	21	63	16	5
合計	298	11	72	17	△6	297	9	74	17	△8	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 4～6月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも、『動向指数』は前期(1～3月)実績よりも低下した。営業倉庫保管量が小幅なプラスを維持する一方、原材料在庫および製品在庫はマイナスとなった。

■ 7～9月の見通しについては、原材料在庫および製品在庫で『動向指数』が若干改善する一方で、営業倉庫保管量では低下が見込まれる。『動向指数』は、製品在庫ではゼロ水準、原材料在庫および営業倉庫保管量では小幅なマイナスとなり、わずかながら原材料の在庫圧縮および営業倉庫保管量削減の方向に向かうものとみられる。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績(見込み)の『在庫動向指数』は、鉄鋼・非鉄など4業種がプラス、窯業・土石および精密機械がゼロ水準で、木材・家具、生産財卸など9業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△4で、前期(1～3月)実績からは16ポイント低下した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、窯業・土石および精密機械がマイナスに沈み、化学・プラスチックおよび消費財卸もゼロ水準まで下降する一方、木材・家具、輸送用機械など7業種で改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は2ポイント上昇して△2と見込まれ、原材料在庫の圧縮の動きに変化はないものの、在庫圧縮の圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

在庫量(原材料)の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	83	16	55	29	△13	83	13	67	20	△7
繊維・衣服	41	12	61	27	△15	41	7	73	20	△13
木材・家具	35	8	63	29	△21	35	9	74	17	△8
パルプ・紙	43	7	81	12	△5	43	7	84	9	△2
化学・プラスチック	101	16	69	15	1	101	14	72	14	0
窯業・土石	39	23	54	23	0	39	18	54	28	△10
鉄鋼・非鉄	101	21	69	10	11	100	17	73	10	7
金属製品	42	10	69	21	△11	41	15	68	17	△2
一般機械	82	21	67	12	9	82	24	63	13	11
電気機械	99	21	57	22	△1	99	19	57	24	△5
輸送用機械	84	14	61	25	△11	84	17	65	18	△1
精密機械	20	15	70	15	0	20	10	70	20	△10
その他	49	10	78	12	△2	49	12	74	14	△2
計	819	16	65	19	△3	817	15	68	17	△2
卸売業										
生産財	28	18	43	39	△21	27	11	56	33	△22
消費財	31	26	55	19	7	31	16	68	16	0
計	59	22	49	29	△7	58	14	62	24	△10
合計	878	16	64	20	△4	875	15	68	17	△2

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄など7業種がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、食料品・飲料、生産財卸など7業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△1で、前期（1～3月）実績からは10ポイント低下した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、精密機械およびその他の製造業がマイナスに沈む一方、輸送用機械がプラスに浮上し、金属製品もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『在庫動向指数』はゼロ水準と強含み横ばいで推移し、製品在庫には変化はないものとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	88	15	53	32	△17	88	14	61	25	△11
	繊維・衣服	39	23	49	28	△5	39	13	69	18	△5
	木材・家具	37	27	49	24	3	37	27	54	19	8
	パルプ・紙	46	22	54	24	△2	45	15	67	18	△3
	化学・プラスチック	112	29	52	19	10	112	21	61	18	3
	窯業・土石	40	27	35	38	△11	40	20	55	25	△5
	鉄鋼・非鉄	102	25	62	13	12	101	26	60	14	12
	金属製品	44	11	66	23	△12	42	19	62	19	0
	一般機械	84	23	58	19	4	84	26	57	17	9
	電気機械	100	21	53	26	△5	100	20	51	29	△9
	輸送用機械	87	21	58	21	0	87	21	66	13	8
	精密機械	23	17	70	13	4	23	13	70	17	△4
	その他	53	17	68	15	2	53	19	58	23	△4
計	855	22	56	22	0	851	20	60	20	0	
卸 売 業	生産財	47	19	47	34	△15	47	14	60	26	△12
	消費財	45	27	51	22	5	45	18	69	13	5
	計	92	23	49	28	△5	92	16	64	20	△4
合計	947	22	55	23	△1	943	20	60	20	0	

(3) 営業倉庫保管量

■ 4～6月実績（見込み）の『保管動向指数』は、鉄鋼・非鉄、精密機械など6業種がプラス、窯業・土石、金属製品、その他の製造業の3業種がゼロ水準で、木材・家具、生産財卸など6業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』はプラス1で、前期（1～3月）実績からは8ポイント低下した。

■ 7～9月の『保管動向指数』見通しでは、化学・プラスチックなど4業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『保管動向指数』は3ポイント低下して△2と見込まれ、営業倉庫保管量に対する削減圧力は若干強まるものとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

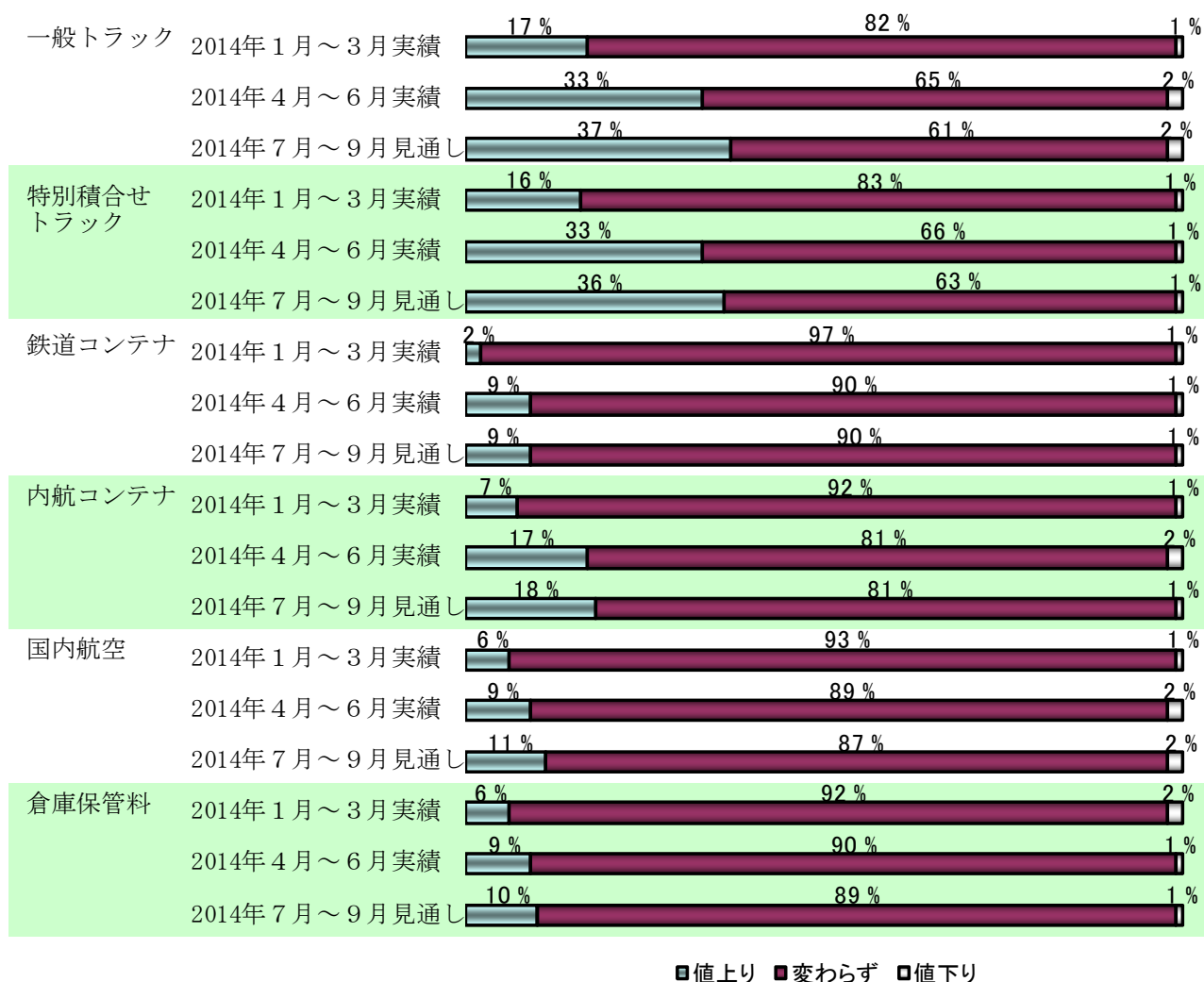
業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	75	20	52	28	△ 8	75	14	63	23	△ 9
	繊維・衣服	26	27	38	35	△ 8	26	11	58	31	△ 20
	木材・家具	30	13	54	33	△ 20	30	13	67	20	△ 7
	パルプ・紙	40	22	50	28	△ 6	41	19	59	22	△ 3
	化学・プラスチック	97	32	47	21	11	97	19	60	21	△ 2
	窯業・土石	26	27	46	27	0	26	27	42	31	△ 4
	鉄鋼・非鉄	72	19	74	7	12	72	18	69	13	5
	金属製品	28	14	72	14	0	28	14	68	18	△ 4
	一般機械	67	24	57	19	5	67	27	57	16	11
	電気機械	71	27	55	18	9	71	27	55	18	9
	輸送用機械	56	18	57	25	△ 7	56	14	68	18	△ 4
	精密機械	17	24	71	5	19	17	17	71	12	5
	その他	39	23	54	23	0	39	23	54	23	0
計	644	23	56	21	2	645	20	60	20	0	
卸売業	生産財	37	19	51	30	△ 11	36	11	61	28	△ 17
	消費財	39	23	56	21	2	39	10	77	13	△ 3
	計	76	21	54	25	△ 4	75	11	69	20	△ 9
合計	720	23	55	22	1	720	18	62	20	△ 2	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、すべての機関で前期（1～3月）実績よりも上昇し、かつ引き続きすべての機関で『動向指数』がプラスとなった。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、鉄道コンテナでは横ばいで推移する一方、その他の機関では上昇方向に動き、引き続きすべての機関で『動向指数』がプラスとなる見込みである。とくに一般トラック、特別積合せトラック、内航コンテナにおいては『動向指数』が2ケタのプラスとなり、増勢がさらに強まる見通しである。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、マイナスの業種は皆無で、輸送用機械が1ケタのプラスにとどまる以外は、残り14業種が2ケタのプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス31で、前期（1～3月）実績からは15ポイント上昇した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、精密機械が1ケタのプラスに低下する一方、10業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は4ポイント上昇してプラス35と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がさらに強まるものとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	101	43	53	4	39	101	45	51	4	41	
繊維・衣服	37	46	51	3	43	36	56	44	0	56	
木材・家具	37	46	54	0	46	37	43	57	0	43	
パルプ・紙	49	39	59	2	37	48	44	54	2	42	
化学・プラスチック	110	34	65	1	33	110	45	54	1	44	
製造業	窯業・土石	41	37	59	4	33	41	49	46	5	44
	鉄鋼・非鉄	106	36	63	1	35	106	37	60	3	34
	金属製品	50	18	80	2	16	47	28	72	0	28
	一般機械	91	35	64	1	34	91	36	62	2	34
	電気機械	107	30	68	2	28	107	33	66	1	32
	輸送用機械	86	13	81	6	7	86	15	82	3	12
	精密機械	22	14	82	4	10	21	10	86	4	6
	その他	54	22	76	2	20	54	33	67	0	33
	計	891	32	66	2	30	885	37	61	2	35
	卸売業	生産財	49	39	57	4	35	48	40	54	6
消費財		49	37	63	0	37	49	45	55	0	45
計		98	38	60	2	36	97	42	55	3	39
合計	989	33	65	2	31	982	37	61	2	35	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 4～6 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、マイナスの業種は皆無で、すべての業種において2ケタのプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス 32 で、前期(1～3 月)実績からは 17 ポイント上昇した。

■ 7～9 月の『運賃動向指数』見通しでは、10 業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は 3 ポイント上昇してプラス 35 と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がさらに強まるものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業 種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	73	49	48	3	46	73	51	48	1	50
繊維・衣服	33	36	61	3	33	33	45	55	0	45
木材・家具	22	41	59	0	41	22	41	59	0	41
パルプ・紙	33	27	73	0	27	32	34	66	0	34
化学・プラスチック	100	37	63	0	37	100	45	54	1	44
製 窯業・土石	29	34	66	0	34	29	34	66	0	34
造 鉄鋼・非鉄	72	37	63	0	37	71	39	61	0	39
業 金 属 製 品	31	10	90	0	10	28	21	79	0	21
一 般 機 械	75	35	65	0	35	75	33	66	1	32
電 気 機 械	88	32	67	1	31	87	36	63	1	35
輸 送 用 機 械	72	13	85	2	11	72	14	85	1	13
精 密 機 械	18	39	50	11	28	18	33	56	11	22
そ の 他	41	29	69	2	27	41	39	59	2	37
計	687	33	66	1	32	681	37	62	1	36
卸 生 産 財	41	41	54	5	36	40	38	58	4	34
売 消 費 財	34	24	76	0	24	34	26	74	0	26
計	75	33	64	3	30	74	32	65	3	29
合 計	762	33	66	1	32	755	36	63	1	35

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 4～6 月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、金属製品および生産財卸がゼロ水準で、残り 12 業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス 8 で、前期(1～3 月)実績からは 7 ポイント上昇した。

■ 7～9 月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準まで下降する一方、繊維・衣服など 5 業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移し、運賃水準の上昇基調には変化がないものとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	54	9	91	0	9	54	11	89	0	11	
繊維・衣服	9	11	89	0	11	9	22	78	0	22	
木材・家具	17	6	94	0	6	17	0	100	0	0	
パルプ・紙	35	9	89	2	7	34	9	88	3	6	
化学・プラスチック	78	12	88	0	12	77	8	91	1	7	
製 造 業	窯業・土石	18	6	94	0	6	18	6	94	0	6
	鉄鋼・非鉄	40	12	88	0	12	40	15	85	0	15
	金属製品	17	0	100	0	0	17	0	100	0	0
	一般機械	41	10	90	0	10	41	12	88	0	12
	電気機械	38	11	87	2	9	38	11	87	2	9
	輸送用機械	34	12	88	0	12	34	12	88	0	12
	精密機械	10	0	80	20	△ 20	10	0	80	20	△ 20
	その他	25	16	80	4	12	24	8	88	4	4
	計	416	10	89	1	9	413	9	90	1	8
	卸 売 業	生産財	11	0	100	0	0	11	0	100	0
消費財		18	6	94	0	6	18	11	89	0	11
計		29	3	97	0	3	29	7	93	0	7
合計	445	9	90	1	8	442	9	90	1	8	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 4～6月実績(見込み)の『運賃動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、繊維・衣服および生産財卸がゼロ水準で、残り12業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス15で、前期(1～3月)実績からは9ポイント上昇した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸など5業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は2ポイント上昇してプラス17と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がさらに強まるものとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	33	18	79	3	15	33	21	79	0	21
	繊維・衣服	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0
	木材・家具	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	パルプ・紙	18	33	67	0	33	18	33	67	0	33
	化学・プラスチック	48	19	81	0	19	48	19	81	0	19
	窯業・土石	14	21	79	0	21	14	21	79	0	21
	鉄鋼・非鉄	26	15	85	0	15	25	16	84	0	16
	金属製品	12	8	92	0	8	12	17	83	0	17
	一般機械	36	19	81	0	19	36	22	78	0	22
	電気機械	29	14	83	3	11	29	10	90	0	10
	輸送用機械	28	14	86	0	14	28	14	86	0	14
	精密機械	10	0	70	30	△30	10	0	70	30	△30
	その他	22	23	77	0	23	22	18	82	0	18
計	285	18	81	1	17	284	18	81	1	17	
卸売業	生産財	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
	消費財	11	9	91	0	9	11	18	82	0	18
	計	15	7	93	0	7	15	13	87	0	13
合計	300	17	81	2	15	299	18	81	1	17	

(5) 国内航空運賃

- 4～6月実績(見込み)の『運賃動向指数』は、生産財卸が唯一マイナスを示し、窯業・土石など5業種がゼロ水準で、食料品・飲料、一般機械など9業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス7で、前期(1～3月)実績からは2ポイント上昇した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、精密機械がマイナスに沈み、木材・家具もゼロ水準まで下降する一方、鉄鋼・非鉄、金属製品、消費財卸の3業種がプラスに浮上し、生産財卸もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は2ポイント上昇してプラス9と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	27	15	85	0	15	27	19	81	0	19
	繊維・衣服	4	25	75	0	25	4	25	75	0	25
	木材・家具	8	12	88	0	12	8	0	100	0	0
	パルプ・紙	7	14	86	0	14	7	29	71	0	29
	化学・プラスチック	36	8	89	3	5	36	8	89	3	5
	窯業・土石	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	22	0	100	0	0	22	5	95	0	5
	金属製品	14	0	100	0	0	14	7	93	0	7
	一般機械	54	17	81	2	15	54	19	80	1	18
	電気機械	53	9	91	0	9	53	11	89	0	11
	輸送用機械	34	6	94	0	6	34	6	94	0	6
	精密機械	14	14	72	14	0	14	7	79	14	△7
	その他	18	11	89	0	11	18	11	89	0	11
計	302	10	89	1	9	302	11	88	1	10	
卸売業	生産財	12	0	92	8	△8	11	9	82	9	0
	消費財	14	0	100	0	0	14	7	93	0	7
	計	26	0	96	4	△4	25	8	88	4	4
合計	328	9	89	2	7	327	11	87	2	9	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 4～6月実績(見込み)の『料金動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、窯業・土石がゼロ水準で、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス8で、前期(1～3月)実績からは4ポイント上昇した。

■ 7～9月の『料金動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに浮上するほか、金属製品など6業種においてプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『料金動向指数』はプラス9と強含み横ばいで推移し、料金水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	64	25	72	3	22	64	25	72	3	22
	繊維・衣服	23	13	87	0	13	23	13	87	0	13
	木材・家具	21	5	95	0	5	21	5	95	0	5
	パルプ・紙	34	6	94	0	6	33	9	91	0	9
	化学・プラスチック	87	6	91	3	3	87	5	92	3	2
	窯業・土石	21	0	100	0	0	21	5	95	0	5
	鉄鋼・非鉄	59	14	86	0	14	59	15	85	0	15
	金属製品	22	5	95	0	5	22	9	91	0	9
	一般機械	63	10	90	0	10	62	13	87	0	13
	電気機械	63	8	90	2	6	63	8	89	3	5
	輸送用機械	51	6	92	2	4	51	6	94	0	6
	精密機械	15	0	93	7	△7	15	0	93	7	△7
	その他	35	3	97	0	3	35	6	94	0	6
計	558	9	90	1	8	556	10	89	1	9	
卸売業	生産財	34	6	91	3	3	33	6	91	3	3
	消費財	30	10	90	0	10	30	10	90	0	10
	計	64	8	91	1	7	63	8	90	2	6
合計	622	9	90	1	8	619	10	89	1	9	

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』は、マイナスの業種は皆無で、すべての業種において2ケタのプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス25で、前期（1～3月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでは、窯業・土石、金属製品など9業種においてプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『動向指数』は2ポイント上昇してプラス27と見込まれ、物流コスト割合はさらに拡大する見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2014年4月～6月実績					2014年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	103	50	43	7	43	103	50	43	7	43
織 維 ・ 衣 服	45	47	51	2	45	45	44	56	0	44
木 材 ・ 家 具	40	45	53	2	43	40	45	53	2	43
パ ル プ ・ 紙	50	24	66	10	14	50	30	56	14	16
化学・プラスチック	112	31	59	10	21	111	32	60	8	24
製 窯 業 ・ 土 石	40	35	55	10	25	40	50	43	7	43
鉄 鋼 ・ 非 鉄	106	31	64	5	26	106	29	66	5	24
金 属 製 品	49	24	70	6	18	48	27	71	2	25
一 般 機 械	93	27	65	8	19	93	30	61	9	21
電 気 機 械	117	28	61	11	17	117	32	56	12	20
輸 送 用 機 械	88	25	63	12	13	88	25	66	9	16
精 密 機 械	25	28	68	4	24	25	24	64	12	12
そ の 他	52	33	62	5	28	52	35	62	3	32
計	920	33	59	8	25	918	34	58	8	26
卸 生 産 財	53	28	59	13	15	52	31	67	2	29
消 費 財	53	36	53	11	25	53	32	60	8	24
計	106	32	56	12	20	105	31	64	5	26
合 計	1,026	33	59	8	25	1,023	34	59	7	27